

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 JA全農かながわ
要望問題名 水稻多収品種の導入に向けた試験の継続について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>本会の主要取引先である県学校給食会からは、神奈川県産米の使用量は3,500～4,000 t / 年と要望されている。今後も開発等で水田面積減少が見込まれるため、大幅な生産量増は見込めない。</p> <p>集荷数量目標のもと行われる価格交渉の結果が、神奈川県産米の相場を形成し、すなわち生産者手取りに直結している。JAグループで集荷拡大に向けた取り組みは実施しているものの、この状況が続けば、生産者手取り低下を招き、本県の水田農業衰退に拍車がかかることが想定される。</p> <p>このような状況のなか、反あたりの収量が多い多収品種を本県へ導入するため、品種試験に引き続き取り組んでいただきたい。</p>	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) I-2 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 (2) 作物の高品質・安定生産技術の開発 ア 水稻の高品質・安定生産技術の開発 カ) 水稻多収品種の栽培特性		
対応の内容等	令和2年度から水稻多収性品種「ほしじるし」の栽培特性試験を実施しています。令和3年度の試験研究結果については、今後、情報提供します。		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			